

問1 平安時代後期に貴族の間で流行した、死後に阿弥陀如来の助けを借りて極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方を何という？

1. 禅宗 2. 浄土信仰 3. 密教 4. 儒教

問2 794年に山背国へ平安京を遷都し、奈良時代の政治を立て直そうとした天皇は誰？

1. 嵯峨天皇 2. 桓武天皇 3. 光仁天皇 4. 聖武天皇

問3 空海が開いた高野山の金剛峯寺が総本山である、平安時代に広まった仏教の宗派を何という？

1. 法相宗 2. 浄土宗 3. 真言宗 4. 天台宗

問4 平安時代初期まで、日本が中国（唐）へ文化や制度を学ぶために派遣した使節を何という？

1. 遣明使 2. 遣隋使 3. 遣新羅使 4. 遣唐使

問5 国司が中央政府から認められた、現地の税を集める権利を何という？

1. 徴税権 2. 裁判権 3. 軍事権 4. 外交権

問6 院政を行うために、天皇の住む御所の外に設けられた上皇の執務機関を何という？

1. 院庁 2. 蔵人所 3. 政所 4. 検非違使

問7 平安時代初期に唐から天台宗を伝え、比叡山に延暦寺を開いた人物は誰？

1. 最澄 2. 日蓮 3. 親鸞 4. 空海

問8 平安京が碁盤の目状に整備される際に、手本とされた中国の都はどこ？

1. 洛陽 2. 平安京 3. 長安 4. 平城京

問9 平安時代に瀬戸内海地方で海賊を率いて反乱を起こした人物は誰？

1. 平将門 2. 藤原純友 3. 藤原秀郷 4. 平貞盛

問10 平安時代中期に、地方の統治や徴税などの実務を一任された地方官を何という？

1. 郡司 2. 目代 3. 太宰帥 4. 国司

問11 平安時代初期に最澄が天台宗の総本山として延暦寺を建立した場所はどこ？

1. 東大寺 2. 清水寺 3. 比叡山 4. 高野山

問12 平安時代初期、地方政治の立て直しを図り、国司への監督を強化した天皇は誰？

1. 桓武天皇 2. 後醍醐天皇 3. 天武天皇 4. 聖武天皇

問13 日宋貿易で力をつけた平氏一族が厚く信仰した、安芸国にある神社を何という？

1. 厳島神社 2. 日光東照宮 3. 出雲大社 4. 春日大社

問14 平安時代中期に、貴族社会を題材とした長編物語『源氏物語』を執筆した女性作家は誰？

1. 清少納言 2. 紫式部 3. 和泉式部 4. 菅原孝標女

問15 平安時代に藤原氏が摂政とともに就任し、政治の実権を握った官職を何という？

1. 関白 2. 征夷大將軍 3. 太政大臣 4. 摂政

答え合わせ・解説

問1	答え 2 浄土信仰	浄土信仰は、阿弥陀仏を信じ、その名（南無阿弥陀仏）を唱えれば、死後に極楽浄土へ行けることができるという教えです。当時の貴族たちは、自分の館や寺院の建物に阿弥陀仏を安置し、豪華な飾りつけをすることで、現世に極楽浄土を再現しようとしていました。平等院鳳凰堂はその代表例です。
問2	答え 2 桓武天皇	桓武天皇はまず長岡京への遷都を試みますが失敗し、その後794年に山背国（現在の京都）へ平安京を遷都しました。これにより、旧来の仏教勢力との結びつきを断ち切り、新たな環境で朝廷の威信を取り戻そうとしました。
問3	答え 3 真言宗	真言宗は、空海が唐から持ち帰った密教の教えに基づく宗派です。呪文や曼荼羅（まんだら）を用いて悟りを開くことを目指す点が大きな特徴です。高野山にある金剛峯寺は、現在も真言宗の総本山として広く知られており、当時の貴族たちからも厚い帰依を受けていました。
問4	答え 4 遣唐使	遣唐使は、天皇の命を受けて唐へ派遣された公式の外交使節団です。留学生や僧侶も同行し、帰国して新しい仏教（密教）や学問、技術を日本に持ち帰りました。しかし、894年に菅原道真の建議により停止されるまで、多くの人々が命がけで海を渡りました。これにより、日本は当時の東アジアの先端文化を吸収し、発展の礎を築くことができました。
問5	答え 1 徴税権	10世紀頃、朝廷は国司に一定額の税収を保証させる代わりに、徴税権や地方の行政権を大幅に委譲しました。これにより国司は現地の経済を支配し、大きな利益を得られるようになりました。
問6	答え 1 院庁	院庁は、院政における実務的な行政機関であり、上皇の意志を国家政策として実行する役割を持ちました。ここで出される命令は「院宣」と呼ばれ、強い権力を持っていました。組織として整備されることで、摂関政治とは異なる独自の政治体制が確立されました。
問7	答え 1 最澄	最澄は唐へ渡り、天台宗を学んで帰国しました。比叡山に延暦寺を建立し、厳しい修行を通じて多くの高僧を育てました。また、大乘仏教の戒律を授けるための「大乘戒壇」の建立を目指しました。
問8	答え 3 長安	平安京は、唐の首都である長安の都市計画をモデルにして建設されました。道路が東西・南北に整然と交差する「条坊制」を採用し、北端中央に天皇の住まいである内裏を置く構造となっています。当時の高度な都市開発技術が結集された、日本を代表する計画都市です。
問9	答え 2 藤原純友	藤原純友は、瀬戸内海を拠点とする海賊のリーダーとして勢力を持ち、朝廷に対して反旗をひるがえしました。同時期に関東で平将門が起こした乱と合わせて「承平・天慶の乱」と総称されます。海と陸の二大拠点で同時に反乱が起きたことは、朝廷の地方支配の弱体化を如実に示しました。
問10	答え 4 国司	国司は地方の政治や徴税を一手に引き受ける地方官です。この職に就くことは、地方の富を吸収できるため、貴族たちにとって大変うまみのあるポストとされていました。
問11	答え 3 比叡山	比叡山は平安京（京都）の鬼門の方角にあり、都の守護を担うという意味も持っていました。ここに開かれた延暦寺には多くの僧侶が集まり、仏教の研鑽を積む拠点となりました。
問12	答え 1 桓武天皇	桓武天皇は長岡京を経て平安京へ都を移し、国家の立て直しを行いました。地方行政の主役である国司を中央から厳しく監視し、不正を防ごうとしました。また、蝦夷の平定にも力を注ぎました。
問13	答え 1 厳島神社	平氏一族は、安芸国にある厳島神社を厚く信仰し、社殿を豪華に造り替えました。海に浮かぶようなその姿は、当時の建築技術の高さと、貴族化した平氏の優雅な文化を今に伝えています。
問14	答え 2 紫式部	紫式部は藤原道長の娘に仕えた女房であり、宮廷社会の複雑な恋愛や人間模様を描いた長編小説『源氏物語』を執筆しました。当時の貴族の優雅な生活や、内面的な感情まで細やかに描き出したこの作品は、日本文学の最高峰とされています。
問15	答え 1 関白	「摂政」は天皇が幼少の時に代わって政治を行い、「関白」は天皇が成人した後に政治を補佐する役割を持つ役職です。藤原氏はこれらの役職を独占することで、天皇を陰から操り、朝廷での最高権力者として君臨しました。これが摂関政治の仕組みです。